

# DENKA

## 2010年度 第2四半期 決算説明会



2010年11月8日

高い技術力で「資源」から「価値あるモノ」を生み出す企業

# 2010年度 第2四半期 決算概要 (その1)

単位:億円

	2010年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減	主 な 要 因
<b>売上高</b>	<b>1,767</b>	<b>1,483</b>	<b>284</b>	有機系素材 25 無機系素材 4 電子材料 28 機能・加工製品 ▲ 6 その他・消去 2
(海外売上高 の割合)	(26.3%)	(24.3%)		
<b>営業利益</b>	<b>126</b>	<b>73</b>	<b>53</b>	← 53
(営業利益率)	(7.1%)	(4.9%)		持分法投資利益増 9 退職給付会計変更時差異 償却終了 他 7
<b>経常利益</b>	<b>116</b>	<b>47</b>	<b>69</b>	← 69
				特別損失 ▲ 6 法人税等 (税効果調整後) ▲ 16
<b>四半期純利益</b>	<b>77</b>	<b>31</b>	<b>46</b>	← 46

# 2010年度 第2四半期 決算概要 (その2) 単位:億円

## 1.総括

(前年同期比)

売上高 1,767 (+284)

①数量差:有機系素材・電材他全セグメントで出荷増 (+216)

②価格差:スチレン系樹脂はコストアップを製品価格転嫁 (+68)

営業利益 126 (+53)

①数量効果:売上高数量差 216 × 限界利益率 40% (+90)

②交易条件悪化:原燃料コストアップ▲114 > 製品価格+68 (▲46)

③負担増:需要増対応に伴う償却費・修繕費・人件費等 (▲43)

④期初在庫安効果:09/3末(-)40 → 10/3末+12 (+52)

## 2.特記事項

①拡販・需要増:CR・電子材料・DXフィルム・トヨカロンなど

②事業構造変革:スチレン系(国内・シンガポール)が着実に稼ぐ

③素材事業復活:営業利益構成比率(10年2Q)14%→(11年2Q)31%

# 2010年度 第2四半期決算概要 (その3) 単位:億円

売 上 高	2010年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増 減
有機系素材事業	765	600	166
無機系素材事業	238	233	4
電子材料事業	241	173	68
機能・加工製品事業	359	326	33
その他事業	164	151	13
合 計	1,767	1,483	284

販 売 価 格 差	数 量 差
79	87
▲ 3	7
▲ 4	72
▲ 4	37
0	13
68	216

営 業 利 益	2010年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増 減
有機系素材事業	27	2	25
無機系素材事業	12	8	4
電子材料事業	47	19	28
機能・加工製品事業	36	42	▲ 6
その他事業	3	2	2
消去差	0	(-) 1	1
合 計	126	73	53

販 売 価 格 差	数 量 差	コ ス ト 差 等
79	25	▲ 79
▲ 3	3	4
▲ 4	42	▲ 10
▲ 4	18	▲ 20
0	2	▲ 0
0	0	1
68	90	▲ 105

# 2010年度 通期業績予想 (その1)

単位:億円

前提条件	2010年度 第2四半期	2009年度 第2四半期
為替レート [円/\$]	89.0	95.5
国産ナフサ [円/Kg]	46,200	37,250

2010年度 第3・4四半期	2010年度 通期予想	2009年度 通期実績
82.0	85.0	92.9
45,000	46,000	41,175

参考数値	2010年度 第2四半期	2009年度 第2四半期	増減
設備投資額	87	110	▲23
減価償却費	109	104	5
研究開発費	49	47	2
有利子負債残高	1,233	1,342	▲109

2010年度 通期予想	2009年度 通期実績	増減
190	269	▲79
230	209	21
100	96	4
1,140	1,206	▲56

## 2010年度 通期業績予想 (その2)

単位:億円

	2010年度 通期予想			2009年度 通期実績		
		4~9月	10~3月		4~9月	10~3月
売上高	3,650	1,767	1,883	3,239	1,483	1,756
営業利益	250	126	124	217	73	144
(営業利益率)	(6.8%)	(7.1%)	(6.6%)	(6.7%)	(4.9%)	(8.2%)
経常利益	225	116	109	169	47	122
純利益	140	77	63	105	31	74

# 2010年度 通期業績予想 (その3)

単位:億円

## 1.総括

(前年度比)

売上高 3,650 (+411)

①数量差:ワクチン出荷減を有機系素材・電材増でカバー (+330)

②価格差:期後半は円高が価格是正を圧縮 (+81)

営業利益 250 (+33)

①数量効果:売上高数量差 330 × 限界利益率 35% (+115)

②交易条件悪化:原燃料コスト▲136 > 製品価格+81 (▲55)

③負担増:需要増対応に伴う償却費・修繕費・人件費等 (▲85)

④期初在庫安効果:09/3末・9末 (-) 40 → 10/3末・9末 +18 (+58)

## 2.特記事項

①需要増減:インフルエンザ関連製品は昨年の特需がなく大幅減  
一方CR・電子材料・DXフィルム・トヨカロンは通期でも出荷増

②事業構造変革の成果:スチレン系が収益源として寄与

③素材事業貢献:営業利益構成比率 (09年度)18%→(10年度)32%

# 2010年度 通期業績予想 (その4)

単位:億円

セグメント別 売上高・営業利益		2010年度 通期予想	2009年度 通期実績	増 減
有機系素材	売上高	1,550	1,316	234
	営業利益	50	17	33
無機系素材	売上高	500	490	10
	営業利益	30	23	7
電子材料	売上高	500	390	110
	営業利益	100	64	36
機能・加工製品	売上高	730	715	15
	営業利益	60	109	▲ 49
その他	売上高	370	328	42
	営業利益	10	6	4
消去差	売上高	-	-	-
	営業利益	-	(-) 1	1
合 計	売上高	3,650	3,239	411
	営業利益	250	217	33

# 2004～2010年度 業績推移

単位:億円

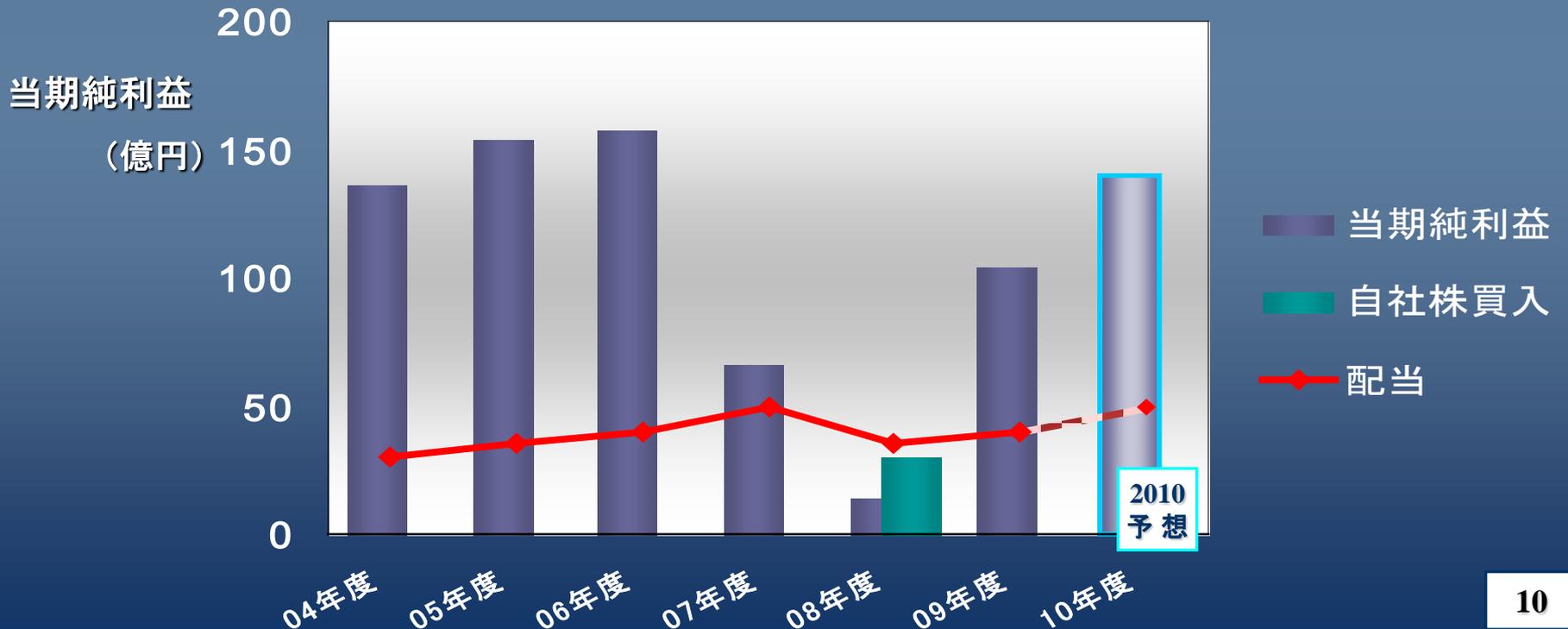
	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 予想
売上高	2,800	3,079	3,293	3,640	3,341	3,239	3,650
営業利益	256	261	299	299	103	217	250
当期純利益	136	154	157	67	14	105	140



# 株主還元

単位:億円

	2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 予想
当期純利益	136	154	157	67	14	105	140
配当 (円/株)	7.0	7.0	8.0	10.0	7.0	8.0	10
自社株買入						30	



# DENKA100 に向けて

【 2010年度 】

【 2011～2013年度 】  
3年間の実行計画  
(最終策定中)

【 2015年 】  
DENKA100  
営業利益600億円

①積極投資の早期回収

クロロプレンゴム  
高分子ヒアルロン酸

②アジア拠点拡充

中国研究開発拠点開設  
韓国販売現法設立

IP樹脂シンガポール新設

③新規開発注力

サイアロン蛍光体  
DXフィルム 他

そして 次の100年 に向けて

## 業績予想の適切な利用に関する説明

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。